

代  
言  
人  
規  
則

CZ  
776  
07

本

東 京 圖 書 館	
新 門	一 三 函
一 部	四 架
類	四 八 八 二 號

036468-000-9

CZ-776-07

代  
言  
人  
規  
則

博  
聞  
社

M9

BBR-0141





明治九年三月吉出版

長尾景弼傍訓  
代  
言  
人  
規  
則

定價貳錢五厘

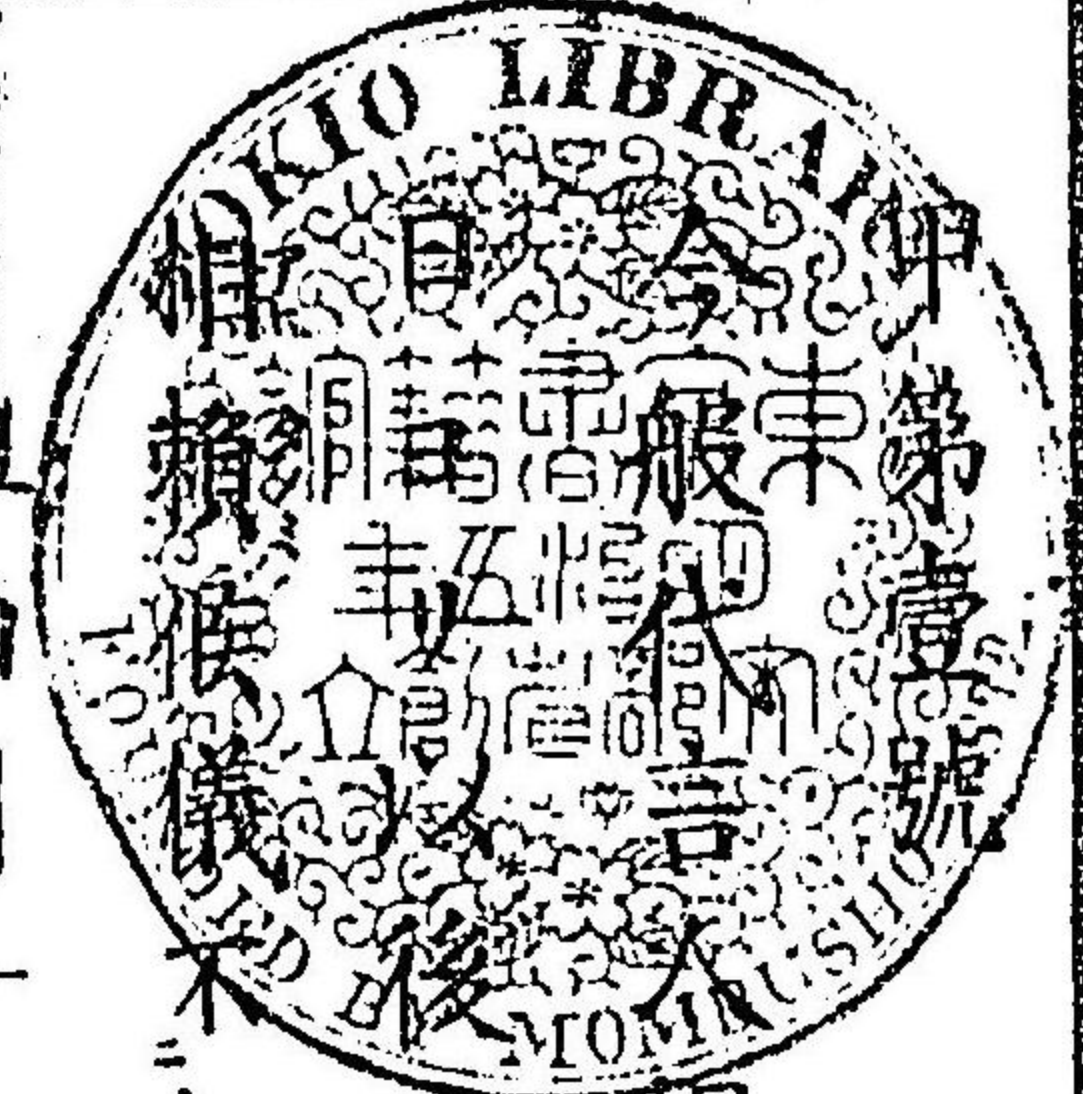
東京  
愛宕  
三丁目  
博  
聞  
社



特56  
697

東京書局

不  
所  
代  
理  
書  
局



規則別紙之通相設  
ハ右規則通り免許ヲ經サル者へ代  
相頼候儀不相成候條此旨布達候事

明治九年圖書寮交付

但四月一日以後代言人無之且ツ本人疾病事故  
テ不得已場合ニ於テハ其至親父子兄弟ノ内  
ニ代ルヲ得ヘク若シ至親無之者ハ區戸長ノ  
書ヲ以テ相當ノ代人ヲ出ス亦不苦

明治九年二月廿二日 司法卿大木喬任

B2  
776  
07



代 言 人 規 則

第一條 凡ソ代言人タラントスル者ハ先ツ專ラ  
代 言 ヲ 行 ハ ン ト 欲 ス ル 裁 判 所 ヲ 示 シ タ ル 願 書  
ヲ 記 シ 所 管 地 方 官 ノ 檢 査 ヲ 乞 フ ヘ シ 地 方 官 之  
ヲ 檢 査 ス ル ノ 後 狀 ヲ 具 シ テ 司 法 省 ニ 出 ス 然 ル  
後 其 許 ス ヘ キ 者 ハ 司 法 卿 之 レ ニ 免 許 狀 ヲ 下 付  
ス

第二條 代 言 人 ヲ 檢 査 ス ル ハ 左 ノ 件 々 ニ 照 ス ヘ

- 一 布 告 布 達 沿 革 ノ 概 略 ニ 通 ス ル 者



- 二 刑律ノ概略ニ通スル者
  - 三 現今裁判上手續ノ概略ニ通スル者
  - 四 本人品行并ニ履歴如何
- 第三條 免許ヲ與フヘカラサル者左ノ如シ
- 一 懲役一年以上實決ノ刑ニ處セラレシ者
  - 二 身代限ノ處分ヲ受ケシ者
  - 三 其地方内ニ定ヨリタル住居アラサル者
  - 四 官職アル者
- 但准官吏タル者モ亦同
- 五 諸官員華士族及ヒ商家其他一般ノ雇人々

ル者

但雇主承諾ノ証書アル者ハ此限ニアラス

第四條 既ニ免許狀ヲ與フレハ之ヲ司法省并各

裁判所ノ代言人名表ニ登載ス

但免許狀ヲ得タル者ハ必ス該裁判所所在ノ

地大区内ニ住居スヘシ

第五條 免許狀ヲ得タル者ハ免許料トシテ金拾圓

ヲ司法省ニ納メシム

但免許ハ一年ヲ以テ限リトス若シ引續其職

務ヲ行ハント欲スル者ハ滿期ノ節更ニ免許



ヲ受クヘシ

第六條 代言人代言ヲ為スハ必スシモ同管轄ノ者ニ限ラス都テ雙方ノ協議ニ任スヘシ

但免許セラレタル該裁判所ノ外ハ代言ヲ為スヲ得スト雖モ其或ハ控訴等ニテ從前手續ヲ以テ他ノ裁判所ヨリ上等裁判所ニ出ルカ如キハ此限ニアラス

第七條 代言人ヨリ訴訟本人ニ對シ不正不實ノ証アル時ハ本人ヨリ何時ニテモ裁判所ハ其由ヲ届ケタル上ニテ代言ヲ辭シ更ニ他ノ代言人ヲシテ代言ヒシムルヲ得ヘシ

第八條 代言人ハ訟庭ニ於テ其訴答往復書中ノ趣意ヲ辨明シ裁判官ノ問ニ答フル者トス若シ其辨論ニ端緒ヲ失シ詞訟ノ本旨ヲ紊亂シ裁判ノ妨碍トナル時ハ裁判官之ヲ制止スルヲ得ヘシ

第九條 若シ訴答書中遺漏ノ件アル時ハ更ニ書取リヲ差出サシメタル上ニ非サレハ代言人其事ヲ辨明スルヲ得ス

第十條 裁判官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ訟庭上原被雙方互ニ辨論スルヲ得ス



第十一條 告達諸規則ノ丁ニ付裁判官ニ向テ旨趣ヲ陳述スルヲ得ヘシト雖モ其是非及ヒ立法ノ原旨ヲ論議スルヲ得ス

第十二條 代言人疾病事故アリテ本日出席スル能ハサレハ必ス裁判所ヘ其旨ヲ届出ヘシ若シ代言人故ナク出頭セスシテ聽訟延期スル時ハ訴訟本人ノ為メ並ニ相手方ノ為ニ延期ヨリ生シタル費用ヲ償ハシムヘシ

第十三條 代言人ノ謝金ハ代言人其訴訟本人トノ協議ヲ以テ其高ヲ預定スル者トス

### 第十四條

一 訟庭ニ於テ國法ヲ誹議シ及ヒ官吏ヲ侵凌スル者

二 訟庭ニ於テ臆察詐偽ノ辨ヲ為ス者

三 相手方ヲ惡言凌罵シ其面目名譽ヲ汚ス者

四 謝金ヲ前收シ又ハ過當ノ謝金ヲ貪ル者

五 他人ノ貸借取引等ノ詞訟ヲ買取リ自己ノ利ヲ圖ル者

六 詞訟ヲ教唆スル者

七 故ヲニ時日ヲ遷延シテ訴訟本人ノ妨害ヲ



為ス者

右ノ如キ者ハ其輕重ヲ量リ裁判官直チニ之ヲ罰スルヲ得其罰目左ノ如シ

- 一 譴責
- 二 停業テイゲク一月以上一年以下
- 三 除名チクメイ三年ヲ經ル後ニ非

但其罪重キ者ハ律ニ依テ處斷シ本條罰目

ト併セ科スル丁ヲ妨ケス尤第三條第一項

ニ觸ル者ハ更ニ代言人タルヲ許サス

第十五條 此規則ニ掲クル所ノ者ハ他ノ法律成

規ニ相觸ル、丁ナシ

達第廿五號

各裁判所  
府縣

今般當省甲第壹號布達相成候付テハ右施行手續  
別紙ニ照シ可取扱候條此旨相達候事

明治九年二月廿二日 司法卿大木喬任

代言人規則中手續

第一條 凡ソ代言人タラント欲スル者ハ先ヅ其

願狀ガクシヤヲ所管區戶長ニ出シ區戶長之ニ奧書オクガキシテ

該地方廳ニ出ス

第二條 地方官其願狀ヲ受クレハ旨ヲ其區戶長



ニ下シ其規則中第二條及ヒ第三條ニ觸レサル  
ヤ否イキヤヲ具狀グジキョウセシム

第三條 地方官其具狀ニ就テ之ヲ審案シンアン檢査ケンサスル

ハ各便宜オオキニツギニ隨フヘシト雖モ必ス本人ヲシテ規

則第二條中一ヨリ三ニ至ル迄ノ事ニ就テハ一  
ノ議案ギアンヲ出サシムルヲ要ス

但其議案ニ據リ或ハ問題モンダイヲ設ケテ之カ答コタヘ案  
ヲ作ラシムルコアルヘシ

第四條 地方官ニ於テ其可ナリト思料シヨウスル者ハ

其見込書へ本人出ス所ノ願狀並ニ議案ギアン或ハ答

案及區戸長ノ具狀書ヲ副エテ之ヲ司法省ニ送オウ

呈テイス若シ其不可ナリト思料スル者ハ司法省ニ

送呈セス直チニ其願狀等ヲ本人ニ還付オウケスルハ

勿論ナリトス

第五條 司法卿其書類ヲ取り之ヲ審議シンギセシメ其

許スヘシト決スル者ハ乃チ之ニ下付スルニ免

狀ヲ以テシ之ヲ全國ケンコク代官ダイカン表ニ掲載キョウキョウセシム若

シ其許ス可カラサル者ハ直チニ之ヲ地方官ニ

還付スルハ勿論ナリトス

但免許料オウケキョウハ十日内ニ之ヲ地方官ニ納メ地方



官取纏メ一年四時之ヲ司法省ニ納付ス共ニ  
 賍贖金收納ノ期限ヲ以テス 同年同月廿五日  
 ヲ以テ共ニ以 同省第廿八號達  
 下ヲ刪除ス

第六條 免狀ハ地方官ヲ經シ區戸長ヨリ之ヲ本  
 人ニ付ス本人免狀ヲ受クレハ其免狀ニ届書ヲ  
 添エ所<sub>シテ</sub>在ノ裁判所ニ出ス裁判官閱シ了レハ書  
 記ニ命シテ其姓名住所族籍年齢等及免許ノ年  
 月日ヲ裁判所代官人表ニ掲載セシメ其免狀ハ  
 本人ニ還付ス

編輯并出版人

飾磨縣士族  
 博開社長  
 長尾景弼

發行所

東京愛宕下町三丁目

博開本社

同常盤橋前

支店

同西京古門前三吉町

分社

同大慈齋橋南久太郎町南

分社

同千葉縣下

分社

同埼玉縣下浦和驛

分社

賣 弘 所



